

教育委員会 だより



第1回大豊町小中学校マラソン大会

冬のスポーツといえばマラソン。町内児童生徒の体力向上と「ホッ・ブ・ステッ・ジャンプ」の小中一環教育の推進を目指して、これまで各小中学校でそれぞれに実施されてきた校内マラソン大会を、本年度は町内4小中学校合同で実施しました。

晴天に恵まれた12月10日。農村広場グラウンドに、それぞれの学校の体育の授業や、朝、休み時間などで練習を積み重ねてきた子どもたちが集まりました。

大会当日は、約100人の児童生徒が、力強い走りを見せ、沿道の皆さまから温かい声援を送っていただきました。

コース上では、必死で走っている他校や他学年の友達に刺激を受け合い、互いに声を掛け合いながら、参加者全員が完走することができました。また、ゴール付近では、みんなで応援する姿も見られました。

距離はちがっても、同じコースを、小学1年生から



中学3年生までが走ったこの大会は、意味のあることだと感じました。

マラソンは子どもたちにとって、得意、不得意の分かれる運動です。しかし、たとえ不得意だと感じていても、それまでに練習を努力したり、当日必死になって走ったりすることは、子どもたちの成長のうえで、必ずいい経験になるのではないのでしょうか。

応援してくださった、保護者の皆さま、地域の皆さまありがとうございました。

学ぶ力は生活リズムの向上から

生活リズムの向上は、子どもたちの心の成長・学力の向上・体力の向上などの根っことなる部分であり、町内各学校でも、それぞれに取り組みがなされているところです。

高知オリジナルキャラクター



高知県保幼小中学校PTA連合会連絡協議会と高知県教育委員会でも、「早ね・早おき・朝ごはん」をキャッチフレーズに、9月・11月・1月を「こうち家族強化月間」として、生活リズム向上のための取り組みを行っております。上のキャラクターのついたリーフレットと生活リズムチェックカードが、各小中学校からご家庭に配布されていると思います。

子どもたちの生活リズムの向上に、地域・家庭・学校が一環となって取り組んでいきましょう。

作文コンクール受賞者多数！

生活綴り方教育を展開し、日本の作文教育に大きな影響を与えた小砂丘忠義が生まれたこの大豊町。町内の児童生徒全員が書く文集「おとよの子」は、今年で第44号となり、現在作成されています。

そんな中、各種の作文コンクールで町内小中学校の児童生徒がたくさん入賞しました。特に中学校では全国や高知県レベルの受賞者が多数出ています。



社会を明るくする運動
作文コンテスト
全国優秀賞
日本更生保護協会理事長賞
高知県最優秀賞
「初めの第一歩」
大豊町中学校 3年
藤原 小夏さん



「ごはん・お米とわたし」
作文コンクール
特選
高知県知事賞
「おかわりの秘密」
大豊町中学校 1年
岡村あずみさん

このほかに、税に関する作文、大原富枝文学賞、青木幹勇記念第1回全国子ども俳句大会、森林の俳句コンテスト、読書感想文コンクールなどでも受賞者があり、この紙面で紹介しきれないのが残念です。受賞された皆さん、指導された先生方、本当におめでとうございます。

ヘルスメイトの おしゃべりコーナー～活動紹介～

ふるさと大豊の味をその胸に 大きく羽ばたけ新成人



1月9日、成人式の交流会で郷土料理を振る舞いました。平成20年から始まったこの活動は今年で3年目を迎えます。

この活動には、これから夢へと羽ばたく新成人の方々に、ふるさとの味を忘れず、ふるさとへの思いを持ち続けてほしいという願いが込められています。また、ヘルスメイトの活動を多くの方に知ってもらう広報活動でもあります。今年も地域で様々な活動を計画しています。皆さまのご協力をよろしく願っています。



ヘルスメイトが腕を振るった
おいしい郷土料理をどうぞ召し
上げ！

献立は郷土料理である「こんちゃん」や「銀ブロウ寿司」を中心にお祝いメニューを考え、食材はなるべく地元のものを使用しました。調理は前日から準備をして、当日も朝早くから調理に取りかかり、約100人分の料理をヘルスメイトが心を込めて、手作りしました。



新成人の方にインタビュをしてみると、「こんちゃん」や「銀ブロウ寿司」は知っており、中学校で作ったことがある方もいました。



おいしい！

成人式お祝いメニュー

- 銀ブロウ寿司
- こんちゃん
- 銀ブロウの錦玉寒
- ゆずゼリー
- 赤飯
- サンドイッチ
- 出し巻き卵
- エビフライ
- ささみフライ
- フルーツ



問い合わせ先 …大豊町食生活改善推進協議会(住民課健康づくり班)

私たちヘルスメイトは、「食」を通じた健康づくり活動をしています

高知の子どもの未来のために 自ら学ぶ力は生活リズムの向上から